

おはなは兄の土井定次郎が當時公儀の隠密方をつとめてゐると聞いて吃驚した御老中の内命を受けて江戸市中に居る浪人者の舉動をさぐる、今で申すと高等視察。

はな『わたくしがお世話をそのお客様は』

定『それは何處へかくしたその忍んであるところを話してくれ』

はな『その人はね、浪人者ではないんですよ、旦那に別れて後わたしが浮氣をして夫婦にならうと約束した……』

定『かくすな（）、今お前には旦那はなからう、想つた男があるならばそれと夫婦になればとて故障をいふものはなし、また死んだヒュースケンが恨みをいひに出て來ることもなからう、のうおはなお前がかくしたその男は堀織部正の家來三島三郎だ、これも證據のあることだ、何處へ行つたかそれをいへ、長六の話しによると行つた先は向島とのことだが、向島は何處だ』

はな『見さん、たゞへ縁は切れだにもせよ、お前とは

おはなは兄の土井定次郎が當時公儀の隠密方をつとめてゐると聞いて吃驚した御老中の内命を受けて江戸市中に居る浪人者の舉動をさぐる、今で申すと高等視察。



お花のてびき

(芝上映上) 悟道軒圓玉 (作) 丸尾至陽 (畫)



血を分けた仲この事は聞いておくんなさるな』

定『勝手なことをいふな、俺の方から縁を切つたわけではなからうお前のやうな兄さんがあては行末が心配

はな『わたし案内をするから一緒に行つておくんなさい』

定『さうか、して向島は何處だ』

はな『秋葉様のそばなんだよ』

定『秋葉の近所だと、あの邊には別荘ばかりだが、それはうそではないかなうな』

と言ひつゝおはなの舉動に目をつけた。

はな『しかし土井さん、三

定『三島に何れ程の腕があるとも俺も一刀流の免許を得たものだ、まさか彼奴のために命を守てるやうなこともなからう、ではお花支度をしろ』

と急き立てられてお花は

きつと決心した。

時代の要求

皆様の是？

尼子タクシーへも豆タクが入りました

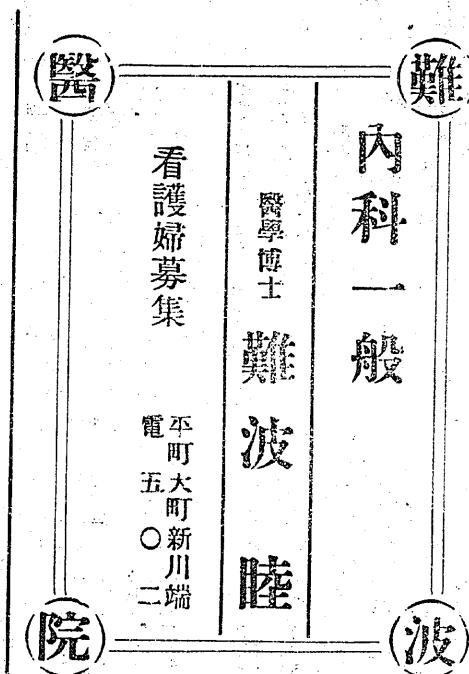
御立關から立關へ迅速簡便

是非御利用を

市内 三〇 錢
市外 四割引

流線型セダン
大型貸切バス

宮行・直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします



島さんの居るところは知らぬやうにしてやるから三郎の居るところをいへ』と迫られてホツと吐息をもらしたおはなはな『兄さん、モシ土井の旦那。それでは三島さんのあの人にはすまないが』

定『よしそれは承知した、ヒュースケンを殺したあの三島三郎、それをかくまへば大罪人だが、そこはお前とは血の通つて居る仲だ、迷惑にならぬ様にしてやるぜ』

はな『それでは今夜お前さんを三島さんの居るところへ連れて行くが、知つての通りあの人は腕も出来てゐるから油斷をすると怪我をしますよ』

定『三島に何れ程の腕があるとも俺も一刀流の免許を得たものだ、まさか彼奴のために命を守てるやうなこともなからう、ではお花支度をしろ』

と急き立てられてお花は

きつと決心した。

はな『しかし土井さん、三

定『三島に何れ程の腕があるとも俺も一刀流の免許を得たものだ、まさか彼